

世界で光り輝くために



世界大会15連覇、3度のオリンピック出場と金メダル獲得と、前人未踏の偉業を成し遂げてきたレスリングの吉田沙保里選手。広島大学の越智光夫学長が、同じ「世界」を目指す仲間として、果てしなく挑戦の裏側にある熱い思いを吉田選手と語り合いました。

吉田選手と広島大学

司会: 越智学長は吉田選手と以前から面識があるそうですね。
越智: 私が広島大学病院院長を務めていた5年前、講演にお招きしました。多くの患者さんが励ましや勇気を頂戴しました。
吉田: あの時は先生や職員の方々に、大変温かく迎えていただきました。病院内の環境もとても素晴らしかったです。
越智: 広島大学病院はビジネス雑誌の全国病院ランキングで、「頼れる病院2位」になったこともあります。2013年9月には新しい診療棟が完成し、再生医療を担う未来医療センターやスポーツ医科学センターもオープンしました。
吉田: スポーツ医科学センターですか？それは興味深いですね。
越智: アスリートのけが予防やパフォーマンス向上に役立つデータ解析を行っています。また、本学は日本パラリンピック委員会の「フィットネスチェック実施協力機関」にも指定



広島大学病院 (広島市南区)

されています。私も整形外科医として、広島東洋カープやサンフレッチェ広島をはじめアスリートの皆さんの手術を担当してきました。吉田選手はけがなどで苦労した経験はありませんか？

吉田: 私は中3の時、左手首を脱臼骨折する大けがをしました。でも、その1カ月半後、ボルトが入った状態で試合に出場しました。医師には止められましたが、父が「絶対出る！」と(笑)。国際大会につながる試合だったので、何としてでも勝たせたかったんでしょうね。

世界のトップと渡り合う

司会: まず、お伺いしたいのは、世界を目指すようになったきっかけです。いつ頃から意識しましたか？
吉田: 中学生になって国際大会に出始めた頃からでしょうか。柔道の谷亮子選手に触発されて、「私もオリンピックに出たい」と思うようになりました。
越智: モチベーションを維持するのは大変でしょう？
吉田: 五輪で金メダルを取った時、「1年くらい休んだら」と言われました。でも、私自身は休む理由が見つからなかったんです。それほど精神的に疲れていなかったんでしょうね。毎年、試合を目標に今できることをやる！それが普通になっているので、モチベーションアップの必要を感じたことがないんです。
越智: 一度世界のトップに立つと「もういいかな」と思う人が多い中で、吉田選手は勝ち続けることが日常に

なっているんですね。広島大学も今後10年以内に世界の大学トップ100入りを目指しているのですが、「世界のトップレベルで活躍するのが普通」というような環境づくりをぜひ進めたいです。



東広島キャンパス (東広島市)

吉田: 今後10年以内にトップ100入りですか？
越智: 広島大学は、文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」のタイプA(トップ型)、「研究大学強化促進事業」の両方にも選ばれています。「10年以内」というのは共通の目標です。ただ、10年で終わりというのではなく、平和を希求する国際的教養人を絶えず輩出し続けることで、100年後にも世界で光り輝く大学でありたいと考えています。

「スーパーグローバル大学創成支援事業」タイプA(トップ型)

国立	北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、 広島大学* 、九州大学
私立	慶應義塾大学、早稲田大学

*中四国では広島大学が唯一

司会: 挑戦には壁がつきものですね。吉田選手は壁にぶつかった経験はありますか？
吉田: 北京五輪の半年前、連勝記

録が119でストップした時はかなり落ち込みました。父が見かねて、「一度戻ってこい」と言ってくれたんです。レスリング道場を営む実家は私の原点ともいえる場所です。そこで子どもたちが一生懸命練習している姿を見

ていると、お手本となるべき自分がこんなじゃダメだと思いましたね。母からも「これまで119人の人たちがあなたに負けて涙を流してきたのよ。あなたは一度負けただけでしょ」と言われました。また、いろいろな方から励ましのお便りをいただき、支えてくれる人の多さにはじめて気付くことができました。

越智: 研究も同じです。いろいろな方々の支えがあってこそだと思います。

ヒロシマの大学として

司会: 今年、原爆投下から70年を迎えました。
越智: 広島大学の前身校も壊滅的な被害を受け、多くの学生や教職員が犠牲になりました。人類最初の被爆地に開学した大学として、本学では平和への取り組みに力を入れています。
吉田: 5年前、広島大学病院を訪問した際、原爆ドームと広島平和記念資料館を見学しました。間接的には知っていましたが、現地で感じる原爆の悲惨さは比べものになりません。もっとたくさんの人に訪れてほしい場所です。

越智: 核の脅威は原爆だけではありません。本学ではこれまで蓄積してきた実績をもとに、東日本大震災・福島原発事故の時も、直後から被災者医療チームを延べ1,300人余り派遣してきました。また本学では、理念とする「平和を希求する精神」に基づき、新入生を対象に、平和科目を必修としています。あらゆる面から平和な人類社会の構築に貢献したいと願っています。

社会を支えリードする

司会: 吉田選手は国民栄誉賞と3度の紫綬褒章を受章されていますね。越智学長もこの春、紫綬褒章を受章されました。どんな心境でしたか？
吉田: 素直にうれしかったです。次の目標に向けて背中を押された気分になりました。先生は、どのような功績で受章されたのですか？
越智: 世界に先駆ける軟骨組織再生技術の実用化です。広島大学には世界に誇る研究が数多くあり、高校生や受験生の皆さんにも注目してほしいですね。
吉田: 例えばどんな研究があるのですか？
越智: 一例ですが、宇宙科学の分野における本学の論文引用度は国内トップクラスです。学内にある「かなた望遠鏡」を使って超巨大ブラックホールの周辺構造を解明した研究は、『Nature』にも掲載されました。『Science』に掲載された研究者の論文数でも、日本の上位5人中4人を本学が独占しています。他にもゲノム編集や自動車メーカーとタイアップした感性を可視化する感性イノベーションなど、注目度の高い研究拠点があります。
吉田: 聞いているだけで、なんだかワクワクしますね。
越智: 教育分野でも本学は、学生が入学後に

伸びる大学として高い評価を受けています。また、身体などに障害がある学生が利用・参加しやすい(アクセシビリティ)環境づくりに全国に先駆けて取り組み、現在もトップレベルにあります。学生にとっても大変魅力的な大学なんです。



留学生のお花見会

吉田: 学ぶ側にとっても理想的というわけですね。
越智: たくさんの方に、広島大学の優れたところや可能性を知っていただければと思います。
司会: 今後の抱負をお聞かせください。
吉田: まずは来年のリオで4連覇。そこから先はどこまで行けるかわからないけど、限界を決めずに、チャレンジしていこうと思います。東京で金メダルを取ることができれば最高ですね。
越智: ぜひ、がんばってください。応援しています。本学も吉田選手を見習って、魅力ある大学づくりを進め、広島大学から社会を支えリードする人々を世界に向けて輩出していきたいと願っています。



司会: 粟田あや (2001年広島大学総合科学部卒業 / 株式会社アイクリエイト)

スーパーグローバル大学 タイプA(トップ型) 全国で13校が世界トップ100を目指す

平和を希求する国際的教養人 未知の問題に自ら立ち向かう人材を輩出

日本パラリンピック委員会「フィットネスチェック実施協力機関」に選定 スポーツ医科学センターを開設

感性イノベーション拠点 産学官連携でワクワク感を見える化

アクセシビリティ 全国に先駆け人に優しい大学を実現

広島大学オープンキャンパス

8月18日(火)・19日(水)

東千田キャンパスは8月19日のみ

■東広島キャンパス 東広島市鏡山1-3-2 ■霞キャンパス 広島市南区霞1-2-3 ■東千田キャンパス 広島市中区東千田町1-1-89

オープンキャンパスに関する問い合わせ先 広島大学入学センター TEL:082-424-6172・6173・4656 FAX:082-424-6180 E-mail:nyusi-group@office.hiroshima-u.ac.jp



HIROSHIMA UNIVERSITY 建学の精神 自由で平和な一つの大学 基本理念 ○平和を希求する精神 ○新たな知の創造 ○豊かな人間性を培う教育 ○地域社会・国際社会との共存 ○絶えざる自己変革

- 学部: 総合科学部、教育学部、法学部、理学部、医学部、薬学部、工学部
- 大学院: 総合科学研究科、理学研究科、生物園科学研究科
- 専攻科: 特別支援教育特別専攻科
- 共同施設: 全国共同利用施設・共同研究拠点

卒業生の皆様へ 広島大学校友会(フェニックスクラブ)へご加入ください。 学生支援事業を行うとともに、校友間のコミュニケーションを促進し、広島大学に關係する全ての個人や団体からなる広島大学コミュニティーの育成と発展を図ることを目的としています。 校友会への問い合わせ 広島大学校友会事務局 TEL/FAX:(082)424-6015 E-mail:sec@phoenix.hirodai.jp Webサイト: http://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/